

京丹後市立病院改革プラン

評 価 調 書

病院事業

京丹後市立病院改革プラン評価調査

【病院事業】

項目		目標	H29 実績	自己評価	H30 実績	自己評価	点検・評価意見
大	中						
運営方針	患者本位の安心・安全な病院づくり	予防医療、救急医療、小児・周産期医療、災害・感染症等発生時の医療、リハビリ医療、在宅医療など質の高い医療の提供	<p>公立病院として必要な医療を提供できた。今後も魅力ある病院づくりを進めながら、医療提供体制を確保する。</p> <p>入院患者数 113,494人(前年度比 968人増) [B] 外来患者数 172,965人(前年度比 3,953人減) [B] 小児患者数 14,663人(前年度比 1,880人減) [A] 救急患者数 10,242人(前年度比 208人増) [A]</p> <p>分娩数 318件(前年度比 33件減) [A] リハビリテーション 611人(前年度比 17人増) [A] 透析患者数 9,957人(前年度比 247人増) [A]</p> <p>訪問診療 187人(前年度比 67人減) [B] 訪問看護 15,398人(前年度比 1,387人増) [A] 訪問リハビリテーション 413人(前年度比 11人減) [B] 通所リハビリテーション 4,107人(前年度比 51人減) [B] 医師派遣(福祉施設) 587回 [A] 医師派遣(野間診療所) 51回 [A] 医師派遣(五十河診療所) 39回 [A] 医師派遣(宇川診療所) 262回 [A] 医師派遣(佐濃診療所) 50回 [A]</p>	A	<p>公立病院として必要な医療を提供できた。今後も魅力ある病院づくりを進めながら、医療提供体制を確保する。</p> <p>入院患者数 108,207人(前年度比 5,287人減) [B] 外来患者数 175,203人(前年度比 2,238人増) [B] 小児患者数 15,968人(前年度比 1,305人増) [A] 救急患者数 10,878人(前年度比 636人増) [A]</p> <p>分娩数 249件(前年度比 69件減) [B] リハビリテーション 771人(前年度比 160人増) [A] 透析患者数 10,947人(前年度比 990人増) [A]</p> <p>訪問診療 211人(前年度比 24人増) [A] 訪問看護 17,137人(前年度比 1,739人増) [A] 訪問リハビリテーション 338人(前年度比 75人減) [B] 通所リハビリテーション 3,974人(前年度比 133人減) [B] 医師派遣(福祉施設) 437回 [B] 医師派遣(野間診療所) 50回 [A] 医師派遣(宇川診療所) 1回 [B] 医師派遣(佐濃診療所) 48回 [A]</p>	B	
	不断の改革改善による持続可能な病院経営の確保	医師、看護師体制の充足	<p>京都府や府立医科大等の医局に依頼を常時行っているが、常勤医師の確保は大変厳しい状況であり、不足する医科について非常勤医師を確保し、外来等に対応した。</p> <p>また、将来の医師体制確保のため、医療確保奨学金を4人に貸与した。 弥栄…常勤医が予定より1人不足 久美浜…常勤医が予定より1人不足(長期療養含む)</p> <p>看護師については、各種学校にも広報等を行い、人材確保に努めており、定期的に職員採用試験を行い、現状は必要数を確保できている。 また、将来の看護師確保のため、看護師等修学資金を24人に貸与した。</p>	B	<p>京都府や府立医科大等の医局に依頼を常時行っているが、常勤医師の確保は大変厳しい状況であり、不足する医科について非常勤医師を確保し、外来等に対応した。</p> <p>また、将来の医師体制確保のため、医療確保奨学金を4人に貸与した。 弥栄…常勤医が予定より6人不足 久美浜…常勤医が予定より2人不足</p> <p>看護師については、各種学校にも広報等を行い、人材確保に努めており、定期的に職員採用試験を行い、現状は必要数を確保できている。 また、将来の看護師確保のため、看護師等修学資金を21人に貸与した。</p>	C	
	地域に開かれた病院づくり	市民と医療従事者が力を合わせて地域医療を支える開かれた病院づくり	<p>弥栄病院では、ボランティアの受入れ、中学生の職場体験学習、高校生のオープンホスピタルを開催。 久美浜病院では、小・中・高の体験学習の受入れ、久美浜町有線放送やケーブルテレビへの出演、出前講座に積極的に医師等を派遣した。[A]</p>	A	<p>弥栄病院では、ボランティアの受入れ、中学生の職場体験学習、高校生のオープンホスピタルを開催を実施。 久美浜病院では、小・中・高の体験学習の受入れや出前講座での積極的な医師派遣を実施した。[A]</p>	A	

京丹後市立病院改革プラン評価調書

【病院事業】

項目		目標	H29 実績	自己評価	H30 実績	自己評価	点検・評価意見
大	中						
運営方針	専門性と総合性を兼ね備えた総合医を育む魅力ある病院づくり	多様な医療を学ぶ研修医、研究者等の臨床・研究拠点として、引き続きハード・ソフト両面の環境整備に努め、医師、看護師の体制確保を図る	<p>初期研修医の受入[B] 弥栄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都第一赤十字病院 4人×1ヶ月 ・京都第二赤十字病院 5人×2ヶ月 ・神戸市立医療センター中央市民病院 13人×1ヶ月 <p>久美浜</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山大卒（歯科） 1人×12ヶ月 ・京都第二赤十字病院 8人×2ヶ月 <p>専攻医研修医の受入[B] 久美浜</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都洛和会音羽病院 2人×2ヶ月 <p>看護学生の受入れ[A] 弥栄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護、助産 日星高校、京都橘大学、 明治国際医療大学など 63人 ・訪問看護 京都府立看護学校 10人 <p>久美浜</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護 日星高校、京都府立看護学校など 53人 	A	<p>初期研修医の受入[B] 弥栄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都第一赤十字病院 6人×1ヶ月 ・京都第二赤十字病院 4人×2ヶ月 ・神戸市立医療センター中央市民病院 15人×1ヶ月 <p>久美浜</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松本歯科大卒（歯科） 1人×12ヶ月 ・京都大学（歯科） 1人×5ヶ月 ・京都第二赤十字病院 8人×2ヶ月 <p>専攻医研修医の受入[A] 久美浜</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都洛和会音羽病院 4人×3ヶ月 <p>看護学生の受入れ[A] 弥栄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護、助産 日星高校、京都橘大学、 明治国際医療大学など 68人 ・訪問看護 京都府立看護学校 8人 <p>久美浜</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護 日星高校、京都府立看護学校など 80人 	A	
	長寿医療で健康寿命の延伸を図るなど長寿時代のモデル病院に	京都府立医科大学との共同研究講座「長寿・地域疫学講座」を中心に、その研究成果を広く地域社会に還元	平成27年12月から「長寿・地域疫学講座」に取り組み、平成28年度より京都府立医科大学から医師2人が派遣されている。 平成29年8月から本格的な長寿健診を開始し、平成29年度は100人の方が健診を受けた。 現在は基礎データを蓄積する段階であり、一定の研究結果が出た段階で市民に還元することとしている。	A	平成27年12月に「長寿・地域疫学講座」を開設。 平成28年度より京都府立医科大学から医師2人が派遣されている。 平成29年8月から本格的な長寿健診を開始し、平成30年度末までに357人の方が健診を受けた。 一定の研究結果が出た段階で市民に還元することとしているが、現在は基礎データを蓄積する段階であり、最初の取り組みとして、平成30年4月に第1回目の中間報告会を開催した。	A	
	一般会計の負担について	市民の方々が安心して暮らすために、救急医療、小児医療、周産期医療、へき地医療、高度医療、リハビリテーション医療など一般的に不採算医療と言われる部門も担っており、このような医療環境を維持・継続していく必要があるため、繰出基準を基本として、一般会計から繰入れを行う	繰出基準に基づいた一般会計からの繰入金。 一般会計からの繰入金 920,340千円 (前年度比 5,918千円増) ・弥栄 488,660千円 ・久美浜 431,680千円	A	繰出基準に基づいた一般会計からの繰入金。 一般会計からの繰入金 927,220千円 (前年度比 6,880千円増) ・弥栄 486,469千円 ・久美浜 440,751千円	A	